

東京片貝会報

発行 東京片貝会
発行責任者 藤塚悟・事務局 小宮善興
〒213-0035 川崎市高津区向ヶ丘115-8
電話 044-866-0189

東京片貝会

新年会御案内

新春を、お健やかに迎えのことと存じます。
昨年、東京片貝会創立五十周年を迎えて、盛況な総会ができました。

本年の新年会は、新役員による初めての開催となります。総会の感動を思い出し、新たな気持ちで、健康、多幸を祈り、会の益々の発展を祈念しまして開催致します。

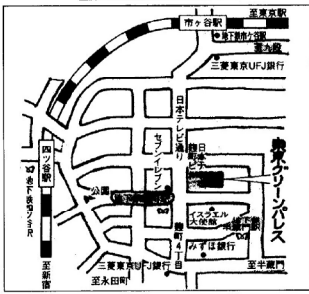
記

日時 平成22年1月31日(日)午後一時(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス(全国市町村職員共済組合連合会
東京都千代田区二番町二番地)

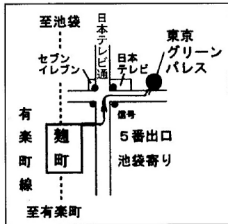
電話 03・5210・4600
会費 七、〇〇〇円

お願い 返信は1月19日(火)までをお願いします。

会場のご案内



・東京メトロ有楽町線 麹町駅(番町出口5)徒歩1分
・JRまたは都営地下鉄新宿線、東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 徒歩7分



会の動き

理事会

於：新潟県人会館
佐藤会長以下21名
会報発送 約八百部

50周年記念総会打ち合わせ
上野精養軒と打ち合わせ 6/28

於：上野精養軒
黒崎副会長、吉井副会長
50周年記念関係打ち合わせ

理事会

於：吉池 池田屋
佐藤会長以下19名
50周年記念関係最終
打ち合わせ

創立50周年記念総会 7/5
於：上野精養軒
出席者203名

会員14名、来賓62名
(二面参照下さい)

理事会

於：吉池 池田屋
佐藤会長以下18名
50周年記念の報告と反省会

次期理事役員人事
次期役員引継

理事会

於：新潟県人会館
藤塚会長以下7名
理事役員人事
引継進捗確認

片貝まつり、教育講演会
打ち合わせ

片貝祭厄年の会へ寄贈 9/9
片貝まつり、成人、33才、
42才、50才、還暦
伝統芸能保存会
清酒二本ずつ寄贈

片貝祭奉納 9/10
藤塚会長 出席
相撲場数で会員観覧
20名が参加。

(例年枚数二枚を申し込
み祭り場での会員の懇親
の場としています。)
励ます会教育講演会 10/23
於：片貝中学校
出席 藤塚会長
本田励ます会前会長
内藤励ます会会長
小宮事務局長
講師 高野 昭人氏
(二面参照下さい)

片貝中学校同窓祭 10/25
於：片貝総合センター
出席 藤塚会長
小宮事務局長

理事会

於：新潟県人会館
藤塚会長以下19名
励ます会報告
新年会打ち合わせ
新潟県人会100周年対応

創立五十周年記念総会の御礼

東京片貝会創立五十周年記念総会は、七月五日盛況に執り行われました。会員の皆様を始め片貝在任の方々からも大変なご支援とご協力を頂きまして誠に有り難う御座いました。役員一同心から御礼申し上げます。
今後共ご指導ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

前会長 佐藤祐一
会長 藤塚 悟

東京片貝会新役員決まる

総会でご承認を頂きました
藤塚会長の下での新役員、理事が決まりました。

会長 藤塚 悟 (31)
副会長 大塚國夫 (31)
安達 弘 (33)
神林省三 (34)
本田秀幸 (37)
芝 強 (38)
小宮善興 (31)
神林省三
本田秀幸
安達 徹 (41)
安達 弘
相崎俊夫 (40)
鯉島昭雄 (29)
佐藤正志 (39)



会長挨拶 藤塚 悟

私は東京片貝会に微力ながらお手伝いをさせて頂きまして約36年になります。片貝会の会員は、少子化現象で数十年前から減少の傾向にあります。また環境の変化などもあり、郷土会の維持は厳しい状況にあります。このような中で会長の大切ですが微力ながら頑張りたいと思います。

皆様にご協力を頂き、もっともっと盛り上げていきたいと思っております。かつてはいろいろな行事を行ってまいりました。要望があれば検討したいと思っております。また、幼馴染み、先輩、後輩、町の人などといった人がいれば、会報にメッセージを入れて送付したいと思っております。楽しい活動に一人でも多くの参加が出来ますよう、新役員と盛り上げますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、学年理事、顧問の方々のお名前は、二面に記載しています。

() は小学校卒業年です。

創立五十周年記念総会

故郷をこよなく愛し、故郷の香り一杯に

東京片貝会創立五十周年記念総会は、七月五日正午より上野精養軒で開催された。当日は会員14名、故郷片貝町から川上東陽協議会会長を始め62名の方々の出席を頂き賑やかに挙行された。

総会は、第一部総会と第二部祝賀会とに分かれ、司会はお馴染みの芝強さん、内藤富美子さんの二人、物故者への黙祷の後、黒崎勝副会長の開会の辞で第一部が開会された。



佐藤祐一会長の挨拶では、多くの方々のご出席、ご支援に感謝され「かつて、片貝では長男以外は旅に出ると言う状況で、郷土会は江戸時代から在って、継続されてきたのではないかと思われる。戦後新たに組織され50年を迎えまして、近年少子化、高齢化でこの会も維持が困難になりつつありますが、本会は若い人達の参加も増えている。故郷片貝町と共に、今後も続くことを願っている。」と述べられた。続いて、会計報告、監査報告が諸我時夫会計理事、木下伸監査理事からあり承認された。母校を励ます会からの図書費の贈呈が、本田秀幸会長から、佐藤信中学校校長、仲邦男小学校校長へ行われた。両校長よりお礼の言葉を頂いた。記念総会に際し、功労者記念品が15名の方へ贈呈された。(功労者)氏名は二面に「小宮幸雄さんが代表され「片貝会に入って40年、片貝弁でどうして、げんきかのなど心から癒された」と感激の挨拶があった。

次いで、佐藤会長から役員

改選の提案があり「会長 藤塚悟、事務局長 小宮善興」で承認された。

第二部祝賀会は、最初にご来賓、片貝伝統芸能保存会、商工振興会の紹介(ご氏名は五面に)がなされ、代表されて川上東陽協議会会長の挨拶を頂いた。「郷土会は短命が多いが本会は長く続いている。役員、会員の団結力が強いのでしよう。母校を励ます会の寄付金は高額になっており、個々人の懐からの浄財で大変驚いている。少子化については力限りの取り組みを進めて行きたい」続いて、新潟県人会平辰会長から、東京片貝会へ感謝状が贈られた。また、来年の県人会100周年記念行事への協力をお願いされた。

鏡開きは、8名の方々で力強い「ヨイショ」の掛け声で行われ、関広一前市長のご発声で、50年の節目更なる

東京片貝会創立50周年記念



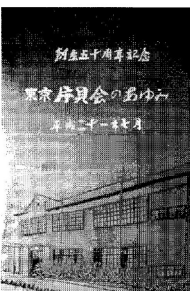
鏡開きは、8名の方々で力強い「ヨイショ」の掛け声で行われ、関広一前市長のご発声で、50年の節目更なる

発展を願い乾杯となった。久しぶりに会う人、同級生との楽しい会話も、だんだん片貝なまりも入り、会場は故郷の香りが漂い始めたところ

でアトラクションが始まった。まずは、綺麗どころの日本舞踊で、後藤美恵子さん(陽光会)、忍足良子さん(緑友会)の円熟した舞いが披露された。今回は大正琴で大活躍されている井上知子さん(十五哲会)に、日本の心が凝縮されている琴の音を演奏していただいた。おまちかねのシヤギリ、巫女爺は、片貝伝統芸能保存会(名塚孝一会長)22名の出演で、道中木遣り、シヤギリと玉送りの行事が演じられた。会場はまつりを想い浮かべ、血が騒ぎ大変な感動と興奮であった。巫女爺は史上初めての巫女の踊りが披露され、お化けの出る演題とともに年輩者は子供の頃を想い出し、笑顔が絶えなかった。郷土芸能は、サマヨ、打ち切



りで、締めとなり「9月のまつりで会いましょう」と挨拶があった。



創立五十周年記念
東京片貝会
七月五日

後、全員舞台上がり、木遣りの大合唱 故郷の香りは最高潮に達した。本年還暦の水遠会藤沢貞夫会長のマジック「大煙火の打ち上げ」でビックリした後、中締めを吉原正幸市議の「発締め」で締めた。閉会の辞は、吉井均副会長で、ご参加、ご支援の感謝とまた会えることを願う閉会となった。今回の会場には、片貝町商工振興会の物産展(出店企業10社、参加者6名)を開催、大変盛り上げて頂いた。またお土産として、JA越後おちや様から、魚沼コシヒカリ、米萬商店様からそば粉の寄贈をいただき、再会を誓いお開きとなった。

創立50周年記念行事の一環として、「東京片貝会のあゆみ」を発行した。祝辞、会報、活動年表、母校を励ます会の活動報告など沢山の内容で、216ページである。総会出席者および関係者に配布された(上欄写真)

新役員

理事

- 神林靖夫(30) 芝 満雄(31)
- 井上知子(34) 工藤イツ(35)
- 高波国男(35) 芝 文夫(35)
- 松井京子(37) 小野塚和夫(38)
- 本田利美(38) 安達亮一(42)
- 浅田勝美(45) 吉井 宏(47)
- 藤塚伸雄(48) 藤塚哲也(49)
- 三井治美(50) 安達智子(52)
- 徳永雅史(53) 堀井ひとみ(54)
- 吉井伸子(54)

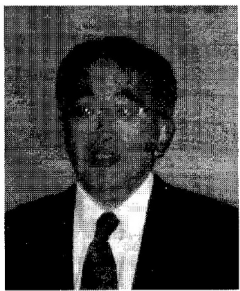
顧問

- 小宮幸雄(19) 阿部修次(21)
- 大塚順一(22) 佐藤裕一(27)
- 黒崎 勝(28) 吉原 宏(28)
- 吉井 均(29) 木下 伸(29)
- 安達弘之(30) 諸我時夫(32)

創立50周年記念総会 功労者記念品贈呈

功労者

- 小宮幸雄、阿部修次、安達和三、新野次郎、神林勝夫、吉原三代治、大塚順一、忍足良子、黒崎正、小野塚茂、中村恵美子、青木マツエ、石上俊夫、横尾ミチエ、石川春子、吉原靖子様(故郷様奥様)



第27回 母校を励ます会講演会
 「出会いを大切に〜一人の泣き虫少年がヒマラヤやアマゾンを訪ねる研究者になるまで〜」
 高野 昭人氏（昭和47年卒 双葉会）
 平成二十一年十月二十三日 片貝中学校にて

第27回教育講演会は、片貝中学校で、中学校全生徒、小学校六年生、町の方々と多数の参加の中で開催された。

講師は、昭和薬科大学准教授の高野昭人薬学博士で薬草と人生観について、植物のサンプルを持参され講演された。

高野先生は、東京都の町田キャンパスで、約800種の植物を薬用植物園で管理され、薬草の栽培、研究、正しい知識の普及（学生教育、住民、薬剤師への普及、小学生などへの公開）を行い、昔からの薬である「たんぽぽ」の研究をされている。

植物には不思議な能力があることを、実際にサンプル（はっぱ）を持参され、香り、味（すこく甘い）酸っぱさを甘く感じさせるミラクルフルーツや眠気を飛ばす匂いをスプレーで噴霧されたりして、

生徒に体験させ証明された。天然は、薬の宝庫と言われ植物からは、アスピリンやタミフル、抗ガン剤など沢山の薬が作られている。更に新しい薬を求めてネパール、チベット、ブラジル、インドなどへ出掛け、険しい地区での薬草採取、風化する前の薬草の現地での聞き取り調査を行っている。世界は広く雄大であるが、言葉の壁があり、もっと勉強しておけば良かったと思っている。

現在までの人生で思うことは「生きていることを大切に、できることを一生懸命やってみよう、結果はともかくベストを尽くすことに挑戦して欲しい。また片貝の文化は素晴らしい、幼馴染み、仲間との繋がりを大切にしたい」と結ばれた。

講演後、学年代表からお礼と感想が述べられ、更に多く生徒から自主的に感想が発表された。非常に活発で活気のある講演会であった。

最後に校長先生から「素晴らしい講演会であった。講演

会の話を経験とし、母校を励ます会の寄贈図書などの心を頂いて、何かを返せるよう生きて欲しい。みんなの感想発表も素晴らしいかった」とのご挨拶を頂いて閉会となった。

なお、教育講演会は、中学校の先生方に計画・準備をしていただき、同窓会の後援により東京片貝会の主催で開催されている。

「母校を励ます会基金協力者氏名（敬称略・順不同）」
 （H21.5.7〜H21.8.21）
 日下部政子、羊川トシ、丸山春三郎、中野みちよ、浅田栄三、豊島文枝、五十嵐登美子、石上俊夫、青木マツエ、高橋一郎、小宮秀雄、大橋洋子、石橋行夫、木下哲夫、藤塚文顕、本田正弘、守屋ヤウ、久賀友作、吉田正子、木曾忠治、小野塚清、吉井信三、平沢和了、重原文明、十三鶴会、大塚功績、井上知子、太刀川三雄、小宮三郎、高波国男、柴山初恵、古原敏明、鈴木映子、松井京子、松井正之、堀井ひとみ、山岸慶昭、小宮八重、松下利夫、小宮幸雄、安達和三、神林勝夫、大塚順一、吉原栄一、中村恵美子、青木マツエ、小嶋ミツ子、長沢愛子、小林均、安達進、安藤真里子、佐藤祐一、藤塚浩治、相内テル、奥瀬洋子、品田紀美子、野崎真知子、神林靖夫、黒瀬良子、芝満雄、安達弘、本田秀幸、阿部武、小野塚和夫、芝強、相崎俊夫、徳永雅史、小松原美枝

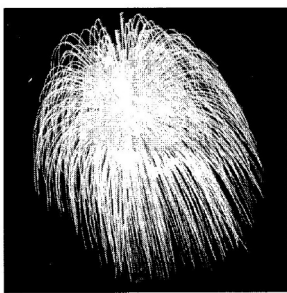
片貝まつり

片貝人の誇りと生き様をかけて 奉納する心意気

花火破片でケガ発生、課題を残す

浅原神社秋季大祭の片貝まつりは、九月九日、十日、奉納花火を中心に行われた。両日共、花火打ち上げ時間は天候に恵まれ、大勢の人出で賑わった。

ケガの発生
 花火破片による観客のケガは、九、十両日に発生、四人が軽傷を負った。九日、午後九時ごろ、三尺玉の破片が打ち上げ場から約60メートル離れていた棧敷席の男性と孫の女の子に当たり、擦過傷の軽傷を負った。破片は縦19cm、横24cm、厚さ3cm、重さ約1キログラムであった。このニュースは、NHKテレビで全国放送され、多くのマスコミに取り上げられた。本事故に対し、新潟県消防課は、主催者側と協議し、三尺玉打ち上げ場所を遠ざけると共に、棧敷の最前列約40席を立ち入り禁止その後方40席の頭上にネットを張った。十日は、慎重に風速を計り開始したが、風が強くと二度の中断となり開始後の午後八時頃、破片が棧敷席に相次いで落下し、重さ約100



写真（小千谷新聞）は九日の三尺玉であるが、流れや広がりはいかがでしょうか。

落下の原因

gの破片が女性に当たり、左上腕部打撲の軽傷、また、やはり女性の右目に燃えカスが入り、軽傷を負った。この後、約1時間20分間の中断となったが、その後再開となり、花火終了は11時30分頃となった。

片貝の花火の歴史は長い
 花火の破片で見物客がケガをすると言ふことは今まではなかった。原因の調査が進められているが、花火の作り方、火薬、揚げ方等に変更はない。打ち上げ筒の傾きは法定的に問題ない。ことなどが解っているが、「上空は風が強く、棧敷方向へ吹いているのではない」と推定されている。「打ち上げられた花火の煙のはげが早かった（煙火工業関係者）」「尺玉の広がりが大きく見えた（煙火協会関係者）」当日の天気は新潟気象台によると、両日とも上空に気圧の谷があり、大気の状態は不安定とされており山の打ち上げ場から、棧敷席方向へ風が吹き下りたか？

東京片貝会 会費

会費は、年二〇〇〇円とさせていただきます。
 会報と同封される郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願い致します。
 母校を励ます会は、三面をご参照下さい。

ふたつと・は・今

H 21年6月から
H 21年11月まで

母校近況

■小学校

わんぱく相撲 強いぞ片小

第23回わんぱく相撲小千谷場所が5/16開催された。118名の小学生力士が出場し、片貝小は、二年生二、三位、四年生三位、五年生二、三位、六年生優勝と大活躍だった。7/12に開催された中越学童親善相撲大会では、四年生六位、六年生二位と大奮闘だった。

ミニバスケットボール

女子チーム県大会へ

ミニバスケットボール「片貝ファンタジスタ」は、6/13、20両日開催された中越長岡地区予選会で、二位となり県大会へ進出した。また、8/1・2震災復興スポーツ少年団ミニバスケットボール交流大会が、県外六県からのチームも参加し開催された。「片貝ファンタジスタ」は、見事準優勝を飾った。

老人クラブ子供会

交流ゲートボール大会 第26回片貝町老人クラブ子供会交流ゲートボール大会が8/22、町内別8チームが参加して開催された。チーム編成は老人クラブ2名、子供会3名、チームごとに練習を重

ね臨んだが、一位三之町、二位四之町、三位町裏Bの成績だった。

小千谷Jr陸上競技大会で活躍 第27回小千谷Jr陸上競技大会は、8/30市内外から小学生211名が出場し開催された。片貝小は、四×百mリレー男女、五、六年生走高跳、五、六年生ソフトボール投げ、五、六年生走幅跳、五、六年生走高跳で優勝し、38名が入賞し大活躍だった。

模型工作・発明工夫展

第21回市立小中学校模型工作・発明工夫展が開催され、「発明工夫展」で、奨励賞一名、「模型工作展」で、銅賞二名、「夢の錦鯉イラスト展」では、銀賞二名が受賞した。

■中学校

中学校各種体育大会

市内および近隣中学校の各種体育大会が7/10各会場で開催され、片貝中は少数ながら頑張り優秀な成績を収めた。特に女子バレーは一セットも落とすことなく完勝であった。

- 男子バスケット 優勝
- 女子バレー 優勝
- 卓球男子団体 二位
- 卓球男子個人 優勝
- 女子団体 三位

ソフトテニス 三位

ソフトテニス 三位

個人 三位

中越地区中学校体育大会

片貝中は、7/7・8に開催された。小千谷市代表の片貝中は、準決勝、三位決定戦で敗れ、惜しくも四位となったが、県大会への切符を手に入れた。

中学校新人大会

期待が大きい新人達 市内中学校新人大会が9/16/18各会場で開催された。

野球 優勝

男子バスケット 二位

女子バレー 優勝

卓球男子団体 優勝

女子団体 優勝

個人 優勝

ソフトテニス 三位

女子個人 三位

男子バスケットは、残念ながら決勝で、谷中に惜敗したが、来年度の活躍が期待される。

科学作品展・研究発表会 第45回自動生徒科学作品展覧会、科学研究発表会が市民会館で開催された。片貝中は「観察記録の部」金賞を三名が受賞、「植物標本の部」で銀賞一名が受賞した。地道な日頃の成果が評価された。

町の行事

花火打ち上げ簡修復

片貝職人の心意気

浅原神社の脇に常時展示されている花火打ち上げ筒の修復作業が五月半ばに行われた。今回は、七寸用筒一本、五寸用筒二本。竹は九州産を使用。鮮やかな緑色の筒が完成し、片貝職人の技が歴史と共に生きていく。

片貝鱗波会

二百回目の釣魚大会 片貝町の釣愛好会「片貝鱗波会」(鈴木義隆会長)は、5/24片貝近隣の川で春季釣魚大会を開催、二百回目の大会となった。毎年春季、秋季、文化祭の三大会を継続している。本会は、釣大会の他に、物故会員と釣った魚達の合同供養祭を行っている。

鴻巣地内で死傷事故発生

6/16鴻巣の市道交差点で、普通乗用車と軽トラックが衝突した。両車の運転者は片貝町民で、軽トラックの運転者は死亡、同乗の妻は重傷、乗用車運転者は軽傷であった。

片貝まつり舞台映画

「タロウとハナビ」撮影開始 片貝町八島の駒村遼太郎さん(24)と、平成十六年の片貝まつり直後に十六才で早世した妹、遙さんの片貝まつりにまつわる実話を基にした映画

「タロウとハナビ」の撮影が9/2から始まった。片貝まつりの再現シーンでは、一日三百名のエキストラを募集した。公開は平成22年8月の予定。都内教館、全国70/80館程度を予定。片貝の花火への注目が一段と増えるでしょう。

片貝読み聞かせの会

全国表彰される 片貝読み聞かせの会(吉井京子会長)は、読書週間を主催する(社)読書推進運動協議会から地道な活動が認められ、全国表彰を受けた。

ご逝去

地津の真福寺の樺澤賢住職が、十一月一日老衰で死去された。91才。葬儀は、六日真福寺で檀家葬で営まれた。ご冥福をお祈りします。

片貝町地震発生!!

大がかりな防災訓練 市は総合防災訓練を9/27片貝中学校グラウンドを主会場に開催。五年前の中越大地震の教訓を踏まえ、35団体800名が参加大規模な訓練が行われた。片貝地区に震度6強の地震が発生、被害甚大の想定で、片貝町全ての自主防災組織の参加、防災ヘリコプター、自衛隊、炊き出し訓練と緊張感の中で取り組んだ。

片貝中学校同窓会開催

第19回同窓会が、10/25片貝総合センターと片貝スポーツセンターの二会場で開催された。総合センターでは、十文字学園女子大学の杉原隆教授による講演会「たくましいからだ」と心を育てる運動遊びが行われ、約150名が聴講した。スポーツセンターでは「昔の遊び体験」が行われ、多くの家族連れで賑わった。

あとがき

本号は、50周年総会の報告を載せ80号となりました。会報は、昭和38年に創刊され46年間続いています。私事ですが、本号を以て新担当者と交代します。平成7年/21年までの14年間担当しました。一介の技術屋で何も解らず、担当させて頂きましたが、皆様の暖かいご支援を心の糧としてきました。本日に有り難う御座いました。

小宮 善興(陽光彦)



片貝町地震発生!!

創立50周年記念総会

「ご支援、ご協力ありがとうございました」

【総会出席者氏名】

(敬称略)

【昭和13〜20】黒崎音吉、佐藤ヨシ、阿部源一、太刀川三郎、山岸慶昭、小宮八重、古谷野ミイ、中川克子、中島イツ、穂苅フサ、松下利夫、石井ユリ、江澤キヨ、氣田登美、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、星シズ、山口光雄、吉原俊六、【昭和21〜30】浅田松夫、安達和三、安達弘男、阿部修次、大井悦子、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、清水好男、高野賢、山口明男、吉原三代治、浅田義男、五十嵐登美子、大塚順一、忍足良子、神林佳子、小宮トシエ、豊島文枝、吉原栄一、遠藤信子、小野塚茂、中村恵美子、長岡利夫、木田文夫、青木マツエ、石上俊夫、木村ナガ、小嶋ミツ子、長沢愛子、新野誠之助、大坂照子、小林均、佐藤尚巳、深野敦子、渡辺幸子、安達進、安藤眞里子、石川春子、石井恵美子、小宮秀雄、本田善一、溝手俊一、山崎勝子、荒木ムツ、石橋行夫、大橋洋子、佐藤祐一、谷岡

妙子、沼里嘉子、藤塚浩治、藤塚文顕、三守京子、吉原靖子、相内テル、浅田京子、奥瀬洋子、黒崎勝、品田紀美子、本田正弘、吉原武夫、吉原宏、木下伸、鯉島昭雄、野崎眞知子、宮下愛子、吉井均、安達弘之、神林靖夫、本田絃一郎、本田弘子、本田十三雄

【昭和31〜40】大塚國夫、大矢佐知子、小野塚清、黒瀬良子、後藤美恵子、芝満雄、平石和子、藤塚悟、黒崎玲子、諸我時夫、渡辺千香子、安達弘、井上知子、神林省三、堀井健次、五十嵐哲郎、工藤イツ、芝文夫、高波国男、山家恵美子、鈴木映子、本田秀幸、松井京子、吉原敏明、阿部武、小野塚和夫、芝強、三重堀國治、本田利美、佐藤正志、相崎俊夫、太刀川和雄【昭和41〜】

博、佐藤潤

【「来賓」(芳名) (敬称略)】

平辰、川上東陽、関広一、長谷川きよ、吉原正幸、小林光紀、吉原芳郎、大矢保、松井均、相崎定夫、佐藤信、仲邦男、安達隆、吉原孝、安達和志、根本忠、吉井陽、藤沢貞夫、宮島幸夫、小宮和弥、佐藤正敏、佐藤正美、吉原亨、大矢政之、本田豊子、山賀基良、千葉良子、吉原千香子、安達隆明、新野正樹、大矢俊之、大矢智、堀井幸一、安達一秀

【「片貝伝統芸能保存会」(敬称略)】

名塚孝一(会長)、大矢敏之、神林誠一、佐藤二一、吉原豊、本田隆一、大塚浩一、山口広幸、小野塚達雄、山口敏郎、阿部尚、小林光男、太刀川敏郎、安達学、山口雅仁、久賀透、黒崎剛、藤塚勇、安達重二、吉井政勝、木曾清、小宮泉

【「片貝町商工振興会」(敬称略)】

物産展参加者 丸山一至朗、本田啓邦、相崎秀人、黒崎庄之輔、松井恵子、石上幸美

大津屋

米萬商店

紺仁

越後製菓

片貝煙火工業

メルベ企画

ひかり工房

【「祝儀」(芳名) (敬称略)】

平辰、川上東陽、関広一、長谷川きよ、吉原正幸、小林光紀、吉原芳郎、大矢保、松井均、相崎定夫、佐藤信、仲邦男、安達隆、吉原孝、安達和志、根本忠、吉井陽、名塚孝一、伝統芸能保存会(21名)、東京新潟県人会、商工振興会物産展出店者一同、黒崎雅仁、大矢敏之、藤沢貞夫、宮島幸夫、小宮和弥、佐藤正敏、佐藤正美、吉原亨、大矢政之、本田豊子、山賀基良、千葉良子、吉原千香子、安達隆明、新野正樹、大矢俊之、大矢智、堀井幸一、安達一秀

【「寄付金」(芳名) (敬称略)】

山岸慶昭、中島イツ、中村恵美子、青木マツエ、小嶋ミツ子、小林均、相内テル、平石和子、安達弘、阿部武、芝満雄、藤塚浩治、山口三郎

【「記念誌広告出稿」(芳名) (順不同・敬称略)】

粟守酒醸造 池田屋

片貝商工振興会

片貝小学校

片貝中学校

片貝中学校同窓会

越後おちや農業共同組合

片貝町体育協会

新野製菓株式会社

池田屋

有限会社片貝煙火工業

有限会社片貝自動車商会

株式会社片貝製作所

株式会社マツオ技研

株式会社口研シエルモールド

株式会社フーゲツ

株式会社藤塚組

吉原印刷株式会社

株式会社浅田精機

粟守酒造有限公司

株式会社安達工務店

有限会社安達左官工業所

黒崎交商有限公司

有限会社紺仁

株式会社しん設備

鈴木齒科医院

有限会社藤沢建設

藤塚仏具店

美好亭

諸我石材店

株式会社山口製作所

有限会社米萬商店

オノツカ精工株式会社

デンキのあだち

有限会社品田精機

有限会社山理自動車商会

米周商店

株式会社メルベ企画

青荘

もろが会計事務所

有限会社小山印刷

奥瀬クリーニング

北京料理双龍

マイウェイ協会

株式会社サンエス・リース

新越精機株式会社

信濃

平石紙器工業株式会社

有限会社藤塚工務店

安心の里いこう

サンコー物産株式会社

黒崎音吉

芝満雄

関東地区同級会

東京よくて会

関東地区 立志級友会

東京緑友会

関東地区 若杉会

東京支部 新辰巳会

仲友会関東支部

朗志会

東京陽光会

東京十三鶴会

白樺会

十五誓会

永遠会

にれ会

つどい会

にじ会

つぐみ会

つくし会

十九伸会

さざなみ会